

S F 惑星の男 (1969)

LE MAITRE DU TEMPS

メディア 映画

ジャンル SF ドラマ

製作国 フランス/ブラジル

時間 70分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

タイムトラベラーを狂言回しとして、人間の愚かさや争いの歴史を醒めた視線で描いたSF映画。ひとりの男が太古の地球に出現、彼は腕時計のような装置を操って、時代を移動していく。原始時代では部族間の争いに巻き込まれ、中世では宗教裁判にかけられ、現代では親しくなった少女の死に絶望する。そして彼は、さらに未来へと旅立っていく……。男は未来から来たのか、ほかの惑星から来たのか、語られることはなく、謎のままである（邦題も謎だが）。ユニークな設定と全編を通しての乾いた哀愁のようなものは評価できるが、せりふは少なく、ドラマは単調、退屈であることはまちがいない。早撮り、低予算の名匠として知られるC・ルルーシュ率いる“フィルム13”作品。

【クレジット】

| | | |
|-------|----------------|---------------------|
| 監督 | ジャン＝ダニエル・ポレ | Jean-Daniel Pollet |
| 製作 | クロード・ルルーシュ | Claude Lelouch |
| | ルイス・カルロス・バレット | Luiz Carlos Barreto |
| | レオン・ズラタス | Leon Zuratas |
| 製作総指揮 | ルーシー・バレット | Lucy Barreto |
| 脚本 | ジャン＝ダニエル・ポレ | Jean-Daniel Pollet |
| | ピエール・カスト | Pierre Kast |
| 撮影 | アフォンソ・ビアト | Affonso Beato |
| | ジャン・コロロン | Jean Collomb |
| 出演 | ジャン＝ピエール・カルフォン | Jean-Pierre Kalfon |
| | デュダ・カヴァルカンティ | Duda Cavalcanti |
| | ミニシウス・デ・モラエス | |